

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 つみき第9 保護者等数(児童数)22名 回収数 16枚 割合 73%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16				
	②	職員の配置数や専門性は適切である	15		1	こども〇人に対して職員〇人など、書面にしていたけると分かりやすいと思います。	重要事項説明書などの記載内容ではわかりづらいのではないか。法令に沿った配置はしている。職員紹介の場などを検討する。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	11	5			施設内はフラット。トイレ内の手すりなどはないが、現状は必要なし。外階段にこちらが手すりなどを設置するのは難しい状況。乗降時の見守りを行なっている。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	16				
	⑤	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	16				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	9	3	コロナ禍のため、交流は難しいと思う。無理に行なう必要はないと思う。	公園などで接する機会はあるので、そのような中で関わりを持つ。年に数回小学生が遊びに来る機会を設けている。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	16				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	16				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	9	2	コロナ禍のため、交流は難しいと思う。コロナ禍での交流は難しいと思いますが、今後あってほしいと願います。コロナが落ち着いたら保護者同士の交流が行なわれるのか興味があります。	コロナ流行以前は『活動報告会』ということで保護者会を開催していたが、現在は行なえていない。次年度以降行なうことを法人で検討中。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	14	2			苦情に対して、理事長・施設長同席のもと話し合いの場を設けるなど、対応を迅速に行なった。ご意見などがあれば真摯に受け止め、対応したい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	15	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	16				
⑭	個人情報に十分注意している	15	1				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	14	2			ホームページなどでの周知を提案する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	13	3			年に2回行なっている。訓練を行なっていることの周知に努める。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	16			祝日で利用できないとさみしそうにします。	通所を楽しみにしてもらっているようであれしい。祝日の開所は難しいが、通所日に楽しんでもらえるよう今後も努力していきたい。
	⑱	事業所の支援に満足している	16			いつも子ども達に楽しい活動を提供していただきありがとうございます。	満足していただけているとのこと、励みになり、職員の意欲に繋がる。今後も満足していただけるよう職員一同日々の活動に精一杯取り組んできたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等  
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 つみき第9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4			広いスペースである ことを生かして遊ぶス ペースと食べるス ペースを分けている。	
	②	職員の配置数は適切である	4				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	2	1	施設が2階で、階段 には手すりなどもな いので、必ず見守り は行なう。	雪などで滑る時には融雪剤な ども検討する。
業務改 善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	3	2			非常勤職員にも議事録や 書類確認などを徹底する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	4				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4	1			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		3	2		法人で検討する事項だ が、補助金などが無いと受 けるのが難しい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	4	1		部会で月に1度決 まったテーマを取り上 げ研修している。	
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	4	1			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		1	曜日で立案を分担 しており、担当の職 員が立案し、意見な どを出し合っている。	月に1度～数か月に1度立案 する職員同士で活動案の会議 などを設けられるとよい。また、 法人内の他事業部の情報など も聞ける機会を設けていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3	2		平日の短い時間 の中でも、設定活動 を行なっている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	5				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5			必ず行ない、必要 な情報は共有してい る。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2		3	必ずではないが、気 づいた点があれば共 有している。	勤務時間などの関係で終 礼を行なうのは難しいが、必 要時は確認や共有をしてい る。打ち合わせ時に共有し ている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	4	1			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	1		対応可能な職員が 複数名いる。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	5				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	1	医療的ケアが必要な 子どもの受け入れは 行っていないが、 発作でダイアップなど の処置が必要なお子 さんに関しては指示 書の提出をしてもら うなどの体制を整え ている。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1	法人内の児童発達支 援事業所とは連携し ている。必要に応じて 他施設との情報共有 も可能。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	1	2	2	情報提供は可能だ が、学校からの情報 や事前の実習などが しっかりしているため か、今まで求められ たことがない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	1	2		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	2	1	2	児童館での活動は 行っていないが、公 園で遊ぶ際には一般 の子どもと接するこ とがある。 年に複数回小学生 がともに活動するこ とがある。	児童館との交流の機会を 作るのは難しいが、障害のな い子どもと活動する機会は引き 続き作っていく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加している	2	2	1	法人で積極的に参 加している。	法人内のことも把握していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	4	1			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		3	2		特にご要望などはないが、困 りごとなどがある際には一緒に 考えていきたい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	2		特に利用者負担の ことなどはお伝えし ている。	基本は書類での確認になっ ている。不明点などを気軽に聞い ていただけるよう配慮する。
㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		引継ぎ時や面談な どでお話があればお 話を伺っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	3	コロナ流行前は行っていた。活動報告冊子の配布は継続している。	次年度実施するかを現在検討中である。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			理事長、施設長同席のもと、保護者との話し合いの場を設けたケースもある。	
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1			
	㉓	個人情報に十分注意している	5				
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	4		法人で検討。浮間地区の地域づくりの協議体に参加している。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		マニュアルは策定しているが、保護者への周知はされていない。	ホームページでの公開ができないか法人に発案する。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年に2回実施している。	
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			北区の職員による研修を受講。部会でチェックシートを実施して、虐待防止委員会に参加している。	
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			身体拘束のみではなく、安全の為や支援の為に行為を行なう行為を虐待であると誤解を受けぬよう事前に了承を得て、支援計画に記載している。	
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1	いつでも確認できるようにおやつ収納ボックスに一覧表を掲示している。	医師の指示書の提出は求めているが、保護者からの指示に従い除去をしている。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハットをまとめる担当職員を決め、部会で共有している。	法人内の事業部全てのを集約した事例集がある。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。